

道徳学習指導案

三原市立第二中学校
教諭 笹岡 嘉郎 (T1)
教諭 加島美紀夫 (T2)

- 1 **日時・場所** 平成23年10月13日(金) 第3校時 3年1組教室
- 2 **学年・組** 第3学年1組(男子17名, 女子15名, 計32名)
- 3 **主題名** きまりを守る〔内容項目4-(1)〕
- 4 **ねらい** きまりを遵守し, 確実に義務を果たすことで, よりよい社会をつくらうとする道徳的判断力を培う。
- 5 **資料名** 「元さんと二通の手紙」(一部改作)
〔出典:『自分をのばす 3』あかつき教育図書〕

6 主題設定の理由

○主題観

中学校の内容項目4-(1)は, 「法やきまりの意義を理解し, 遵守するとともに, 自他の権利を重んじ義務を果たして, 社会の秩序と規律を高めるように努める。」となっている。

中学生では, 人間が社会の中で生きているという自覚が深まり, 法やきまりの意義を理解できるようになってくる。しかし, 自我の発達が著しい時期でもあり, 自分の行動を制限・拘束するものとして, 法やきまりを軽視したり反発したりすることもある。また, 法やきまりによって保障される個人の権利は強く主張するものの, 自分果たすべき義務を果たそうとしない場面も少なくない。

自他の権利を大切に, 自らに課せられた義務を遂行することで個人の自由は保障される。その権利・義務の客観的な取り決めが法やきまりである。法やきまりは自他の生活や権利を守るためにあり, これを遵守し自らの義務を果たすことが秩序と規律ある社会を実現することを理解させるのは, 中学生という時期に望ましい生活態度を育てていく上で重要である。

○生徒観

中学校生活も残り5ヶ月となった。熱心にとりくんできた部活動をやり切り, 最後の運動会も終え, 大きな行事は文化祭だけとなった。これまでの授業や学級活動, 学校行事や部活動を通して, 集団生活をする上でルールやマナーを守ることが, 安心して生活するための基盤であることを学んできた。

しかし, 自分本位な考えで, きまりや時間を守らず, 全体に迷惑をかけている事実もある。また, 集団生活の中での自分の役割を自覚できず他人まかせにしたり, 責任を果たさない生徒や, トラブルやルール違反を見て見ぬふりをしたりして解決しようとしないうちも見られる。

これから生徒たちは, 進路決定という大きな節目を迎える。義務教育終了後は, 進学したり社会に出て行くことになり, この時期にしっかりと規範意識を身に付けさせ, よりよい社会を実現する意欲をもたせたい。

○資料観

本資料は、動物園の模範的職員だった元さんが、幼い姉弟への同情心からきまりを破って入場させたが園内が大騒ぎになってしまい、その結果会社に解雇されるという内容を扱ったものである。保護者同伴でないのに入園させてしまう元さんの行動は、心情的には十分に理解できるものである。しかし、職員として入園についてのきまりを守ることも果たすべき義務であった。元さんの判断・行動の場面は、生徒にとって「善と善の葛藤」を引き起こすであろう。さらに二通の手紙について考えることで、きまりの意義、自他の権利と義務について思考を深めることができる資料である。

○指導観

生徒の実態をふまえ、ねらいを達成するために、指導に当たっては次のように工夫していきたい。

- ・導入時には、動物の写真を提示し、小さい子どもたちにとっては動物園がとても魅力的な場所であることを生徒の経験から確認させる。
- ・資料提示は、文章は配付せずT 1、T 2が分担し、立ち止まり読みをしたり、イラストなどを提示することによって、場面把握をしっかりとさせる。
- ・掲示や板書、机間指導などを、T 1、T 2が分担することで、能率よく展開していく。
- ・個人思考ではネームプレートを、グループトークの結果はホワイトボードを活用し、視覚的に全体把握しやすくさせる。
- ・道徳性の発達段階を事前に把握しておく。
- ・ペアトーク・グループトーク・クラストークを取り入れ、道徳性の発達段階の異なる生徒どうしの相互作用によって思考を深めさせる。
- ・自分の考えをもたせ（自己決定）、それを集団の中で表現させ（自己存在感）、それぞれの良さを感じさせる（共感的人間関係）という、生徒指導の三機能を意識した学習展開をしていく。

- 7 準備物 動物の写真、イラスト、板書カード、ネームプレート、ホワイトボード、ワークシート

8 学習指導過程

段階	展開の視点と発問	生徒の活動と予想される反応 (生徒指導の三機能を生かしたポイント)	指導上の留意点及び支援の観点
導入	1. 心の耕しと課題の設定 ◇小さな子どもたちが遊びに行きたいところはどこか。	(1)想像したり、自分のことを思い出したりして、発表する。(個人) ・遊園地 ・動物園 ・水族館 ・映画館 ・ゲームセンター ・海や山 ・公園 ・デパートなど	*心をリラックスさせる。 *本時の学習に興味・関心、意欲をもたせる。 *写真の掲示で臨場感をもたせる。

<p>展 開 前 段</p>	<p>2. 道徳的価値の類型化 ◆資料①を提示する。</p> <p>◇元さんが、姉弟を入園させるか、させないか悩んでいる理由は何か。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>《相互作用》 ペアトーク クラストーク</p> </div>	<p>(2)内容をつかむ。</p> <p>(3)元さんの思いをしっかりと把握する。 (個人→ペアトーク→クラストーク) 〈入園させたい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物好きの2人に、動物を見せてやりたい。 ・弟の誕生日を祝ってやりたい。 ・いつも外から動物園を見ていたのを知っていた。 〈入園させられない〉 ・保護者同伴という規則に反する。 ・入園時刻を過ぎている。 ・自分が罰せられる。 	<p>*場面や状況を想像させながら聞くことを指示する。 *T1, T2で分担する。 *道徳的論点に気付かせる。 ◎道徳的心情を豊かにする。 □役割取得 *元さんの内面に視点をあて、深く考えられるようにする。 *論理的読解力</p>
<p>展 開 後 段</p>	<p>3. 道徳的葛藤討議 ◆資料②を提示する。</p> <p>◎2人の子どもを入園させた元さんの行動に、賛成か、反対か、その理由は何か。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>《相互作用》 クラストーク</p> </div> <p>◆資料③を提示する。</p> <p>◇元さんの言う「この年になって初めて考えさせられたこと」とは何</p>	<p>(4)内容をつかむ。</p> <p>(5)元さんの悩みを自分に引きつけて判断し、その理由を付して発表する。 〈賛成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日動物園を覗くほど熱心だった。 ・入園料を持って来ていた。 ・子どもだけでも大丈夫だろう。 ・弟の誕生日に動物を見せたいという姉の気持ちに感動した。 ・入園するつもりで来ているから入園させないとかわいそう。 〈反対〉 ・入園終了時刻を過ぎている。 ・小さな子は保護者同伴という規則になっている。 ・子どもだけでは心配。 ・姉の気持ちはわかるが、規則は守らないといけない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【自己決定】 個の思考により判断し、自分の考えを持たせる。</p> </div> <p>(6)内容をつかむ。</p> <p>(7)元さんが、二通の手紙や今回の件から考えさせられたことを話し合い、発表する。</p>	<p>*場面や状況を想像させながら聞くことを指示する。 *道徳的論点を明確にする。 ◎道徳的判断力を高める。 *判断の理由付けを大切にさせる。</p> <p>*机間指導し、生徒の道徳性の発達段階を把握する。 *ネームプレートで全員の意思表示をさせる。 *切り返し発問をすることで、葛藤する元さんと同調できる場を設定する。</p> <p>*場面や状況を想像させながら聞くことを指示する。 □道徳的葛藤討議 *道徳性の発達段階の異なる</p>

元さんと二通の手紙	組 番 名 前
-----------	------------

- 1 ●2人の子どもを入園させた元さんの行動に、賛成か、反対か、その理由は何か。
ア 賛成 イ 反対

理由



- 2 ●元さんの言う「この年になって初めて考えさせられたこと」とは何だったのだろう。

- 3 ●これまでの生活できまりを守らずに迷惑をかけたことはなかったか。また、そのときどう思ったか。

- 4 ●この学習で考えたこと、感じたことをまとめよう。

※心のノートp.94～95をまとめよう。